

# 市立大「健全運営を」

## 教員ら市議会に請願書

昨年に実施された学長選をめぐり、下関市立大(川波洋一学長)の教員ら38人が、大学の運営健全化を求める請願書を25日付で市議会に提出した。教員らはこれまで、「新学長の選挙手続きには大きな問題がある」として、昨年12月の学長選挙会議の検証などを大学側に求めていた。

学長選をめぐっては、選挙会議に先立って行われた教員らの「意向投票」で、川波氏の29票に対し、落選した対立候補は38票を獲得。だが選挙会議では議長裁定で川波氏が選出された。このため、「9票もの大差を覆す明確な理由が無い」として、選考委員の半数が選挙結果に反発していた。

提出された請願書では、「学長選挙の過程を検証す

る会議が紛糾して流会になった。学内では、教職員の携帯電話記録の提出を求めるプライバシー権侵害や、教職員に対する複数のハラメント行為など異常な事態が起きている」と指摘。

①学長選挙においては教職員の意向を尊重する②理事長らの任命は、公正で民主的な大学運営を進める能力のある人材を選ぶ③ハラメント調査などについては学外有識者の観点を取り入れることなどを要求している。

請願書に署名した教員の1人は取材に対し、「いまの市立大に自浄作用は期待できない。市議会に大学の運営を正してほしい」と話した。請願書は12月1日開会の市議会に審査される。

(白石昌幸)

## 食べ残し減らす まず市職員から

そんなに残してえくんかい



宣言が書かれたパネルを持つ中尾市長＝下関市役所

忘年会や新年会シーズンを控え、下関市の中尾友昭市長は28日、市職員が宴会での食べ残しを減らす宣言をした。県内では外食や家庭での食べ残しを減らすための「やまぐち食べきり運動」が展開されているが、市によると、県内の市町でこうした趣旨の宣言をするのは下関市が初めてという。

宣言は宴会時の乾杯後15分と終了前10分は自分の席につき、出された料理を食べる時間にしようという内容。15分の「いち・ご」と

10分の「いち・れい」にかけて、宣言名を「そんなに残してえくんかい?」宣言は一期一礼(15・10)とした。

市によると、まだ食べられる食べ物を捨てる「食品ロス」は、国内で年間約632万ト(2013年度推計)が発生。国民1人当たり換算すると毎日茶わん1杯分のごはんを捨てていることになるという。このうち、飲食店から出される生ゴミの約6割が客の食べ残しとされている。

宣言では、市職員に食べられないものは宴会前に店

に伝える  
っている  
いテープ  
ことを求  
全日写浦

# 下関

下関支局 ☎ 083・223・1141  
FAX 083・223・1142  
下関市細江町2丁目  
山口総局 ☎ 083・922・0135  
FAX 083・922・0210  
メール s-yamaguchi@asahi.com  
宇部 ☎ 0836・31・6800

**購読・配達のご用は**  
0120・33・0843 (7~21時)  
広告のご用は  
朝日広告社 083・972・5660  
オリコミのご用は  
下関 083・232・6380

### きょうの天気

6~12時 降水確率 12~18時

0	下	0
0	萩	0
0	山口	0
0	下松・周南	0
0	岩国	0

下関	下松・周南
萩	岩国
北北西	西南西
北北西	東南東
山口	湿度 50%
北北西	

気温	最高	最低
16度	0度	

それ以来、授業を一緒に

山

うちに、つらい思いをして

(成沢解語)